

# 生保営業のひよこ

—新人から中堅へ

(有)エヌワーエージェンシー

代表取締役 森田直子



217

生命保険を取り扱うには、その前に社会保障制度の仕組みや保障内容を理解しておく必要がありますよね。生命保険の目的は、国が保障する社会保障では足りない部分を補つことがあります。ですから、私たちは当然ながら、社会保障制度について学び、知識をそれなりに持っているはずの立場です。

また、今は就業不能保険や介護保険への注目度が一気に高まっており、特に働きなくなつて収入が減るリスクに対しては、すでに世間一般の人

が認識を持つている時代になりました。また今後は、"人生100歳時代"という長寿化がさらに進むため、介護にお金かかるリスクに対する認識も急速に広まるでしょう。

これらのリスクに対する提案をしていくことが必要となります。つまり、公的保険に関する教育や指導は、表面的なことしか行

われていないという問題

しかし現状では、公的保険について「私は説明文

をかけるぐらい知識があ

ります。だから、公的保険の知識が必須で

ある立場なのに、実は圧倒的に知識が足りていな

いということを痛感した

次第です。

そんな中、この公的保険にスポットを当てて学べる機関がいくつかあります。そこで紹介をしたいと思います。

一つ目は、「一般社団法人公的保険アドバイザー協会(東京都中央区、代表理事・土川尚氏)」

二つ目は、「一般社団法人日本ライフマイスター協会(東京都中央区、代表理事・人見輝也氏)」(<http://lifemeister.jp/>)です。

これらは、公的保険それぞれの力でアドバイザー／介護相談アドバイザー／健康相談アドバイザー／年金相談アドバイザー等のスキルを学べます。講師は、元公務員としてこれらの公的保険の申請や利用窓口の業務を長年行ってきた、実務経験のある方です。この方も、さまざまなか

を感じます。私がそう感じている理由に、私自身が40代で体が不自由になるという経験をしており、複数の公的保険についてさまざまな手続きや申請を行っており、これについて非常に苦労をしてきた経緯があります。

自分は保険業界人として、社会保険に関する知識は当然あると思っていました。執筆業もしてい

ます。ですが、社会保険の内容を文章で解説したこと

公的保険とは、予想以上に複雑で難解であり、さらには年中改定される

ので覚えにくく、また客

との連続、メンタルがやられ

ます。しかし、親切丁寧な対応を常にしてくれるので、か

なり面白い手書きではあります。ただし、まだマシだと

でも、自分や家族の生

活がかかっているので負

けていられない自分を励まし、役所の窓口で何

度もやり合うような場面もありました。

こうした経験をしてみ

られており、これから勉強したいと思う人にもお

勧めできるものでした。

また、業界の現場でどう

いせいか、窓口対応は事

務的で不親切。介護保険

とは天と地の差でした。

講は、現役世代の人も多

く経験することになりま

す。

この協会では、「公的

保険アドバイザー」とい

う資格制度と、これに必

要な講習やテキストを提

供しています。私自身も

東京開催の講習を受け

ています。研修レベルはかなり高度なものですが、

非常に分かりやすく工夫

されています。研修レベルはかなり高度なものですが、

非常に分かりやすく工夫

されています。研修レベルはかなり高度なものですが、